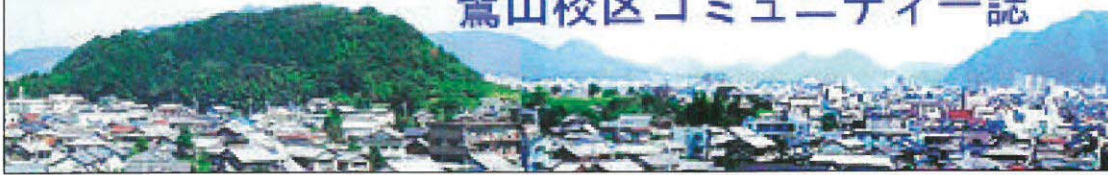


ふれあい鷺山

鷺山校区コミュニティー誌



第13号

2007年8月30日

発行

鷺山自治会連合会

鷺山まちづくり

協議会

本誌は自治会加入世帯全戸へ配布しております



おしらせ

- 9月2日(日) 校区防災訓練 校区各地区
- 9月8日(土) 10時 健康講座(介護予防)公民館
- 9月17日(祝) 10時 敬老会 小学校体育館
- 10月7日(日) 9時 市民大運動会 小学校校庭
- 11月4日(日) 12時 校区文化祭 小学校体育館
- 11月18日(日) クリーンシティぎふの日
- 毎月第4木曜日 9時半 健康相談 鷺山公民館

御礼

夏祭り大会も皆さまのご協力が無事終了することが出来ました。多くの方々に参加いただき、昨年に倍する賑わいで主催者一同喜んでおります。

本通りを通行止めなどご迷惑をおかけしました。一般校区民の方を始め、各企業、団体の皆さまには物心ともご支援、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

主催者一同

地域のみみんなで子どもを見守る

事業 バリアフリー 校区 60カ所 現地調査実施

鷺山校区では、4月から「ヒヤリハットとバリアフリー事業」を鷺山くらしの安全委員会が進めています。

防犯、防災、交通安全、バリアフリー上問題のあるところを校区の皆さんからアンケートをとりました。302地点が問題点とされ、事務局で事前に現地を視察し、その内の60カ所を緊急重点地点としました。

この60カ所を8月2日、市役所生活安全室2名、道路維持室4名、北警察署1



本通り歩道橋付近の現地調査

名、校区委員会から12名が9時半から自転車移動しながら60カ所をくまなく現地調査しました。

校区は区画整理が遅れており、狭い道、出会い頭事故が多い交通関係が8割以上を占めています。

一カ所ごとに意見・対応策を聞きながらチェックし、5時の時間いっぱいまで精力的に行われました。

8月末までに市、警察の回答が出る予定です。

驚いたことに2日後には小学校から南の通学路が一部補修されていました。

歩け歩け大会



鷺山3丁目

5月20日(日)風

はあったものの澄み切った青空の下、「鷺山歩け歩け大会」

が行われ約300人が参加しました。鷺山小学校からメモリアルセンターへ、芝生広場でいろいろのゲームを楽しみました。主催 体育振興会、自治会連合会、

協力 交通安全協会鷺山支部、青少年育成市民会議



メモリアルセンターで

早朝ラジオ体操



台風等のため延期になった「早朝ラジオ体操」が7月16日

災害に備えて

6月3日(日)午後7時半



鷺小体育館で

から鷺山小学校体育館で、「校区自主防災隊結成式」が行われ

校区自主防災隊結成式 図上訓練講習会 開催

れました。

各自治会から避難誘導、救出救護、給食給水等々の担当者として校区の赤十字奉仕、消防、水防、女性防火等各団の計430人が参加しました。北消防署から阪神淡路大地震の映像と注意点を、7月に行う図上訓練の話がされました。

7月28日(土) 10時から小学校体育館で、「校区自主防災隊図上訓練(DIY)講習会」が行われました。自治会長全員が出席し、北消防署の指導により5地区ごとに自分たちの町が防災上どんな状況にあるのか、条件ごとにチェックしあった。蒸せる暑さを跳ね返すような真剣さで地区の地図に書き込んで検討しました。



地区の地図に問題地点を描く

(祝)6時半から鷺山小学校校庭で行われました。校区子ども会から児童と保護者達多数が参加しました。終了後、近くの「鷺山」へ登りました。

(主催) 鷺山体育振興会・鷺山子ども会育成会、指導 体振山崎・高橋さん、青少年育成市民会議)



鷺山SUN山よさこい踊り



正木2丁目付近

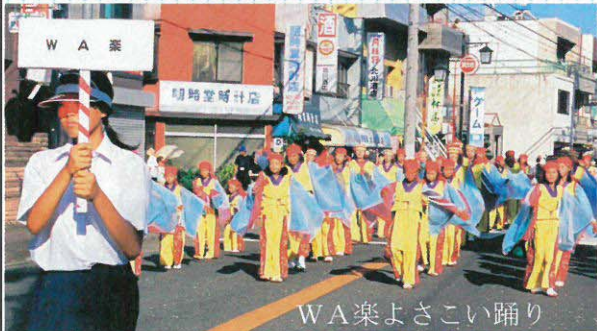


県岐商吹奏楽部



緑ヶ丘新町2丁目 手前はミニバトンサークル

沢山の人々が参加した 鷺山夏祭り大会



WA楽よさこい踊り

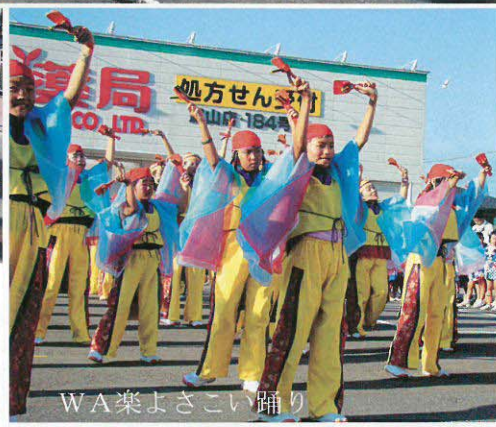


鷺山本通り2丁目



・自分の描いた絵の行灯を見つけたのが大変だった。(小5男)

た印てしどを。象いーもは幼(40的たド達じ稚代でのをがめ園しがしパ子兒



WA楽よさこい踊り

今年は中学生がイベントや模擬店に参加してくれました。お年寄りもお店を開いたり、地域のいろ

んな人が参加しました。校区のコミュニケーションショ



かぐや第二幼稚園



ふぞく幼稚園

みんなのでつくる安心・安全・力あふれるまち さぎや



野々田万昭ブラザーズバンド



園児・学童と歌おう



青山中合唱部

みんなで歌った!



鷺山小校歌ダンス



メイン会場 夕6時



合渡とんくる和太鼓



やゆFish



メイン会場 夜9時半

・ 県岐商のプラスバンドも子ども達に人気の曲を演奏してくれたりして、子どもがとても喜んでいました。(30代母親)

・ ・ ・ など、人それぞれの視点から夏祭りを楽しまれたようでした。この夏祭りの活気に負けない鷺山のまちづくりを進めていければいいですね。



郡上踊りさわぎ会 古調会



校区ポータルサイトには沢山写真を載せています。



鷺山に銀座出現

・昨年の夏祭りより入出
 が多くビックリしまし
 た。そこらじゅうに人が
 あふれていました。(70
 女姓)
 ・昨年より露店がたくさ
 んあり楽しかった。(中
 1)
 ・歩行者天国になった鷺
 山本通りを多くの人が行
 き交い、夏の一時を楽し
 んでいました。



歩道橋下 大行灯



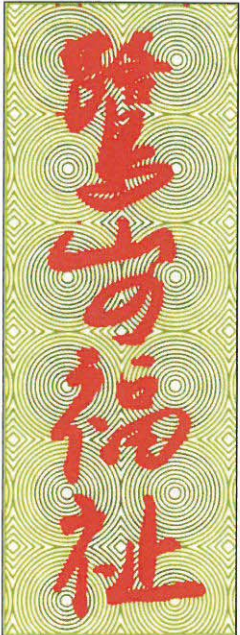
鷺山本通り3丁目 8時半



緑日広場 7時半



・子どもが楽しめるお店が
 沢山あった。校長先生が看
 板つけて頑張っていてびっ
 くりした。(小6男)
 ・舞台もあり、盆踊りもあ
 り、たくさん露店もあり
 楽しかった。(60代女性)
 ・歩行者天国なのだから、
 もっと道路で遊べることも
 したらいい。(30代男性)



第25号
発行
社福協鷺山支部
☎231-0040

鷺山保育所で米づくり

「こんなに大きくなったよ！」

キッズトン

市立鷺山保育所では、地域の食生活改善推進協議会や保健センターの方々のご協力をいただきながらお米づくり挑戦しています。6月に園庭で5歳児が苗代つくり、モミまき、そして田植えをしました。その稲がぐんぐん伸びて子どもたちの胸のあたりまで大きくなりました。稲に触って「やらせらするね」と発見



6月22日雨の中 田植え

したり「うわーこんなに大きくなった」と友だちと定規をつないで測っている子どもたちです。稲は7センチ程になりました。地域の方々と連携をとりながら稲を育てていますが、子どもたちは稲をじっと見つめたり、触れたりすることで驚きや発見の喜びがたくさんありました。

今、食べ物の季節感がなくなり、カットや調理された物が何でもすぐに食べられるようになりました。しかし、子どもの心と体の健康につながる「食」を考えるとき、もっと様々な食べ物、食材への関心を育て、友だちと調理したり楽しく食べる経験をさせてあげ

ことが大切ではないでしょうか。保育所では、稲の栽培、収穫、食の経験をとおして、子どもの食への関心を高めていきたいと考えています。今から秋の収穫、おにぎり作りが楽しみな子どもたちです。

(所長 高木 京子)



稲の様子 鷺山保育所園庭

やろまいか!!

今日から変える生活習慣
〜糖尿病を予防しよう〜

皆さん、年に一度は健診を受けていますか？

健診を受けた結果「要指導」でも、自覚症状がないからといって、生活習慣を見直さないまま過ごしていませんか？

薬などで治療する程度ではないからといって、糖尿

健全な食生活を幼児期から身につけさせようと、市から委託の子育て支援事業「味わう教室・キッズトン」。社協・食生活推進協議会鷺山支部が協力しています。

市立鷺山保育所年長組の子どもたちが、お米づくりを始めました。

発泡スチロール箱に田んぼをつくり、モミまきをし、6月22日には、雨の中、泥だらけになりながら田植えを行いました。

暑い日差しをいっぱいを受けて、稲もどんどん丈を



ンに気づき、毎日の食生活・運動習慣を見直すことで予防できます。

年に一度は健診を受けて、からだの内側の変化を確認するとともに、生活習慣を見直して、健康でいきいきとした毎日を過ごしましょう！

(問い合わせ先)

北部ふれあい保健センター

鈴木 仁子

電話(210)1501

伸ばし、葉も勢いよく広がって、見事な田んぼ風景です。「こんな小さな稲穂から芽が出たよ」「何を食べて、こんなに大きくなるの？」毎日、草取りや水やりをする日々、不思議と好奇心で目はキラキラです。毎日眺められる田んぼだけにきっと愛着もひとしおです。

秋には、稲刈りをし、大きなおにぎりを食べる子どもたちの笑顔がきくと見られることでしょう。

(桑原 妙子)

健康は食から

メタボリックシンドロームの予防・解消しよう
(内臓脂肪症候群) お腹スッキリ 男の料理

男の料理教室

地域の人々の健康作りの一環として発足した社協・食生活改善推進協議会鷺山支部も3年目を迎え、男の料理教室も6回目となりました。

今回は最近話題になっていきますメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予防・解消をテーマに開催いたしました。

夏休み入りの7月21日(土)に鷺山小学校家庭科教室で50代から90代までの30名の男性と、女性スタッフ8名の参加で行いました。

開催に先立ち、男性参加者がまず北部ふれあい保健センターの鈴木保健師より腹囲の測定をしていただきましたが、約2/3が赤信号の85センチを上回っていることが判明しました。その後、全員でストレッチ体操をし、乾社協鷺山支部長の挨拶。



腹囲測定の様子



調理をする皆さん(鷺小家庭科教室)

鈴木保健師よりメタボリックシンドロームについての説明を受け、日常の食生活の大切さを実感した上で、各班に分かれて「野菜中華炒め」や「レタススープ」など4品の調理をしました。



できばえに満足!



参加者からはみじゅん切りや卵の殻むき、味付けに悪戦苦闘し、ワイワイガヤガヤと賑やかに行いました。できあがった料理の味に、皆満足そうでした。

食事後の反省会では、「初めて会った人と色々話をしながら楽しくできた」「味付けが難しかった」「段取りが大変」等の感想が出ました。

今度は、「フランス料理」「イタリア料理」「焼きそば・たこ焼き」を作ってみたいとか…。活発な意見が飛び交いました。

強い雨の降る日で、冷房設備のない部屋での活動でしたが、全てを忘れ、楽しいひとときを過ごしました。

(河合 輝久)

三世交代流できた

夏休み親子料理教室

食生活について考えてもらおうと、社協・食生活改善推進協議会鷺山支部が7月23日(月)に、鷺山小学校家庭科教室で行った「夏休み親子料理教室」は、今年で3年目になります。

今年は、三世交代流で、おばあちゃんと孫のグループら30名の参加。

食改のスタッフ8名と北部ふれあい保健センターの鈴木保健師から、一日何を食べればいいのかを書いた「食事バランスガイド」を用いて、献立の手作りソーセージや野菜スープについての説明を受けました。

いつも忙しいお母さん方ですが、ワイワイ話もはずん



なかなかの手さばきです



見た目も栄養もバッチリ!



参加した皆さん(鷺小家庭科教室)

で、夏休みの一日を親子で楽しく過ごすことができ、良い体験になったと思います。料理は、目、耳、鼻、口の五感体験ができます。子どもの頃にいろいろな体験をすることは、記憶の土台をつくる大切な時期でもありますので、是非、家庭でも親子で一緒に料理を作ってみてはいかがでしょうかです。

食事作りに関わると言うことは食への知識も増え、食へることに心身共に健康でいきいき暮らすことを伝えていきたいです。

(森田 佐津子)



昭和39年(1964年)東海道新幹線が開通して、東京オリピックがあった年)、翌年の岐阜国体開催を控え、金華橋が開通し、金華橋通りが鷺山本通りまで出来ました。これを機に鷺山第一土地区画整理事業が動き出し、昭和60年には金華橋通りがこの蝉を南北に貫きましました。この頃から蝉あたりも変貌し始めました。

今回お邪魔した「蝉西・東」は、南蝉の北。今、鷺山第二土地区画整理が行われており、道路整備が進み、



蝉 東

新しい街が出来つつあります。鷺山の東の集落が昔からあった蝉西自治会は、地域の真中に金華橋通りが出来、商店や大型店舗が進出し、鷺山東部の商店街になってきました。道路も整備され住宅も増えてきました。現在58世帯。

東蝉自治会は、鷺山校区東端で、すぐ東が長良西の福光南。田畑が多いところでしたが、近年しゃれた住宅も増え、静かな住宅地になりそうです。現在82世帯。

鷺山校区東部の街として発展していくでしょう。



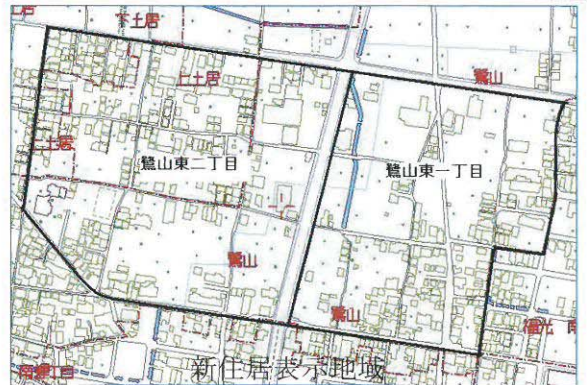
この地域には、神社、お寺は全くありませんが、大昔官道の東山道が通り、大きな城館があったようで、このあたりが「街の中心地」だったようです。

3年ほど前、「せみ」のバス停北で遺跡発掘調査が行われ、百二十以上の四方の「蝉土手城館跡」が見つかったことは本誌2号でも取り上げました。

さて、この地区を含み右下図のように、12月には「鷺山東一丁目・二丁目」の住居表示名になります。

蝉西自治会は一丁目と二丁目に分断され、町名と自治会名がちぐはぐになります。地域の大きさと地元意識とのギャップにより自治会再編を呼ぶのでしょう。(取材協力 粥川守男)

本多敏夫(両会長)



編集後記

今夏は酷暑、その上夏祭りのなんやかんやの準備、当日は一日炎天下で忙しくて、皆さんのいい表情の写真が撮れなくて残念。

とにかく、祭りやる人も楽しむ人も沢山参加して、よかったよかった。

少しでも早く「祭り」を本誌で報告しようとして一週間でやっと形にしました。そして印刷に一週間。インターネットなら3日後にはご覧いただけます。このページのアドレスでご利用ください。①

鷺山字名(あざな)めぐり

あまや ひがしまちなみ
雨屋・東町並(上図参照)

地名の由来は大別すると、自然・遺跡・交通と産業・文化にかかわるものが多い。今までに紹介したものは、中洲(自然)川の中洲、仙道(遺跡)交通、古代の官道・東山道、豆腐屋(産業)店等がそれらに該当する。

今回の雨屋は遺跡からつけられたと考えられる。古代、雨屋は天屋と云われ、納屋、倉庫を意味する。東山道沿いに、必要物資を収納した天屋がいまの地名に転化したのだろう。

また東町並は城下町からきたと想像される。「中島両以記文」という古文書に、鷺山から長良にかけて、中世の土岐頼芸や斎藤道三時代に城下町が形成され、町屋が続いていたと記されており、それと関連する地名かも知れない。あまり、正確な所は不明である。(加納 宏幸)